

人知れず歌いつがれてきた、または1人で喜んで
いた数々の名曲のかえ歌。今まであまり表に出る
ことのなかったこれらの作品を再び大特集!

永久保存版 名曲かえ歌

●シベリウス《フィンランディア》埼玉大学管弦楽団・斉藤 稔

Allegro moderato
痛っててててててて 痛っててててててて
「このところは「Te」のシラブルで吹くのが良い」と、トレーナーの先生に教わりました。

●広瀬量平《祝典序曲》九大フィル・森田益史

Trb.
しんさん きょう いちよ やくー

これは我が九大フィルのYさん (hr.) が何と夢の中でうかんできたという、
神がかり的なかえ歌です。曲がややマイナーですが……

●ドボルザーク《チェロ協奏曲》匿名希望の音大生・M

Vc. Solo
fp fz
f fz
アラ エッサッサー

●Vウィリアムズ《イギリス民謡組曲》音大生・M

冒頭がTVのコマソンに聞こえる。「ラッパッパ、ラッパッパ、カーツキザクラ」3曲目冒頭は「ミーヨちゃんもハナちゃんもよっといでー」

●J.E.D.バラ《Fantasie en Mi bémol》音大生・M

Trp. in C Lento
この曲はオケではなくて、ラッパのソロとピアノの曲ですが、実技試験の前
になるとよく聞くのでつい……
ハ ワイアンアーイ ハ ワイアンアーイ

●ショパン《ピアノ協奏曲1番》音大生・M

Piano Solo
p espress.
あなた か わり は ない ですか (by 都はるみ)

●ベートーヴェン《ピアノ協奏曲5番・皇帝》音大生・M

うー えをむいて ある こうよ

●ボロディン《ダツタン人の踊り》習吹の山口っあん

ボロディンのダツタン人の踊りの合唱をよくきくと「ラーメンがー、あーきーたー、アンポンターン」と歌ってる。その他、注意してきくと「さあ食べ！」とか「腹いてー」や、「オーメーコー」とかきこえる。これは変態な曲だ!

●ドビュッシー《小組曲》4曲目・バレエ 芦屋交響楽団Fg・和田圭三 (以下全部)

Allegro giusto
おーい みんな たき火だよ みみずも かえるも 出ておいで

●ムソルグスキー《展覧会の絵》

Trp.
ff
お金貸して下さい お金貸して下さい お金貸して下さい お金貸して下さい お金貸して下さい……

6曲目、「サミュエル・ゴールドベルクとシュミイレ」のTrpのあわれなソロ。

●マーラー《交響曲5番》 2楽章 九大フィル・森田益史

Trb. 1, 2
f マッ チ デー ナ

●モーツァルト《ホルン協奏曲2番》 兵庫県・K

112
ダーメナノ ヨ ダーメナノ ヨ

ピアノ協奏曲21番C-durの第1楽章にももっと大々的に出て来
ますが、こちらはいかにもためいきのようです。

Ob.
f fz
アラ エッサッサー



かえ歌大特集 PART3



●ブラームス《交響曲3番》3楽章

あめが ふればかさが いるよ

●シベリウス《交響曲2番》2楽章

おれは もー て ない おと こだ アホ

●チャイコフスキー《交響曲4番》4楽章

へべれけとうちゃん 死んだ さけ のんで 死んだ

●ベートーヴェン《交響曲5番》

へが 出 たー 身も 出 たー ○○の まわりは ××だら けー

次は変わりダネ。関西大学交響楽団第29回定期演奏会のプログラムの、なんとこれが曲目解説である。(譜面は編集部) 作者は当時関大 (ちなみに、いしいひさいちの出身校だそう) 1回生で、現在アマチュアオケ・芦屋交響楽団でファゴットを吹いているという和田圭三さん。

●シベリウス《組曲・カレリア》

この曲の情景に関する2人の関オケ団員の会話……

I. 前奏曲 モデラート 4分の2

A 「最初の、ザワザワ言うとなのは稲が風にゆれとんねん。」
B 「ほんでホルンが『取り入れやから出てこい』いうて呼び出して、何べんもこたますんねんけど1人も出
てけえへんから、泣きそうになって『出て来てえなあ』ゆうたら皆かけ足で出てくんねん。」
A 「皆がとり入れしてる最中にバイオリンがイネカリ、イネカリ言うとなねん。」

II. バラード テンポ ディメヌエット 4分の3

B 「しまいにすんでからホルンが『ああしんど』言うとなねん。」
A 「その晩な、みんな仕事すんだから言うて酒飲んどんねんけど元気ないねん。」
B 「しや、ほんで皆『しんど、しんど、ものすごしんど』言う歌をうととんねん。」
A 「ほんでな、1人あほが春の小川の歌を歌いかけよんねんけど、なぜかちごた音楽に変わってしまうや。」

III. 行進曲 モデラート 4分の2

B 「うん、ほんでな皆『しんどい、しんどい』言うて寝てしまうねん。」
A 「これはな、取り入れがすんだ後の秋祭りやねん。そんでみな遊んどんねん。ほたら途中でラッパが『ええもん高いのは当たり前』言う歌を歌いよんねん。」

B 「ちやうねん。村にはな、いくつか店があつてな、そん中での「かれり屋」いう店が一番安うてええねん。そやから、みんな『ええもん高いのは当たり前、ええもん安いのがあれり屋あ』言うて歌うねん。」
A 「ちよ! ほんでな、しまいはみんな『ええもん安いのはあ、かあれりいやあ』ゆうて終わんのかいや」
B 「そやねん。」

実は、この曲はシベリウスが28才の時にスカンジナビア半島の根元にあるカレリア地方の英雄伝説に基づいて作曲した9曲のうちの3曲。

かえ歌大募集!!

●そういえばこんな歌があった、あの歌は本当はこう歌うのだ等々、傑作を募集しています。どんなにアホらしくても可。巻末の読者カードか封書でパイパーズまでお送り下さい。曲の箇所がわかりにくい場合は簡単な楽譜を添えて下さい。作曲者名、どの曲のどこらへんかを明記の上お願いします。